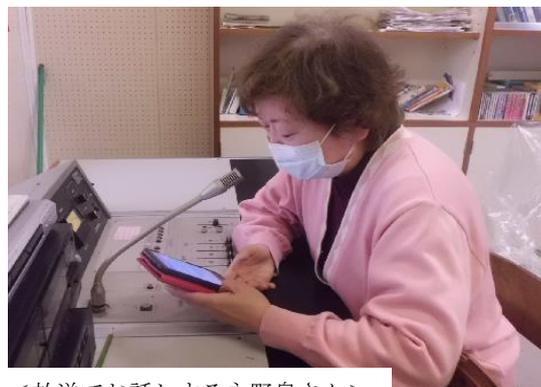




全校朝の会 10年前の3.11を考える 復興の担い手としての自覚!

本日は、今年度最後の放送による全校朝の会を行いました。今年で東日本大震災・原発事故から10年を迎えます。本日の朝の会では、震災の記憶のない子どもたちが10年前に起きた出来事を知り、今もその爪痕が残る現実や復興の担い手となる自分を自覚するために、震災後、宮城県石巻市から福島県伊達市に避難してきた永野泉さんをお招きし、放送を通じてお話をさせていただきました。

永野さんは自宅が津波で全壊しましたが、その際に奇跡的に無傷で自宅跡に残された「じろはったん」の本にちなみ、タイサンボクの葉に復興への思いを書き、地震発生時刻3月11日午後2時46分に海に流すことで亡くなった方への鎮魂と復興への思いを伝える活動を続けています。今後、子どもたちはタイサンボクの葉に「復興への決意」「将来への夢や希望」「現在頑張っていること」「楽しかったこと」などを思い思いに書く活動を行います。この活動を通して、今生きていることへの感謝や復興の担い手としての自覚につなげたいと考えています。



<放送でお話する永野泉さん>

御家庭でも震災の記憶がない子どもたちに、東日本大震災及び原発事故による影響、そして福島復興への願い等について、話をいただければと思います。



<じろはったんの本と永野泉さん 本校図書室にて>

○ 年間を通した教育活動が評価されました。各種表彰。

本日の朝の会では各団体からの表彰を伝達しました。今年度、JRC活動による奉仕活動や医療従事者への感謝のメッセージ、縦割り班の活動において特に6年生が協力し合いながら各活動を推進したことが評価され「小さな親切運動」の表彰を受けました。JRC委員長李旭壘さんが代表して賞状を受け取りました。また、感染症対策として免疫力を高める食事・運動・睡眠の健康の循環を回す取組や6年生の給食メニューの具現化など、食生活を自分で整える力の育成に組んできました。それらの取組が評価され食育推進優秀校の表彰を受けました。健康の推進役となった保健委員長立花琉翔さんが代表して賞状を受け取りました。



※ 裏面に関連記事を掲載していますのでご覧ください。

< J R C 活動から >

< 食育推進活動から >

◎ 献立への思いより

『私たちの班は、洋風を意識してハンバーグの主菜にしました。ハンバーグは茶色なので、いろどりを考えてカラフルなポテトサラダを副菜にしました。スープには、旬の白菜とニンジンを入れていただきました。

この献立を考えたのは、立花琉翔と齋藤勇斗と李旭鎣と遠藤現です。

今日で6年生が考えた献立は最後です。6年生が考えた献立はいかがでしたか。最後の献立もおいしく味わって食べてください。』



< 26日(金)ハンバーグ・ポテトサラダ・コンソメスープ >

12日(金)
鮭フライ
和風サラダ
里芋の
味噌汁



22日(月)
豚肉の
生姜焼き
ナムル
大根の
味噌汁



○ 6年生 同窓会へ入会

本日、同窓会入会式を行いました。石田吉宏同窓会長から歴史と伝統ある本校の卒業生として立派に成長してほしいとお話があり、代表して さんが誓いの言葉を述べ、記念品を受け取りました。